

場所 アスンシオン日本人学校

(Zoom ミーティングルーム)

指導者 教諭 平山 美保

1 単元名 「くちばし」

2 本時の学習

(1) ねらい

質問、答え、説明という構造で書かれた文の内容を正しく読み取る。また、友達と協力して、楽しみながら日本語でクイズをつくることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	主な働きかけと予想される反応	○留意点 ★評価
0	1 アイスブレイク活動	○「たいせつなものなーに」 自分の大切にしている物や好きな物を取ってきて紹介する。	○緊張をほぐし楽しい雰囲気づくりに心がける。 ○皆に紹介してもらえよう、西語で話してもよいこととする。
10	2 導入	○鳥のくちばしのクイズをする ・写真とくちばしの特徴から、何の鳥か想像させる。 ・答えの後、くちばしの説明文を聞かせる。 ・質問→答えという文の構造に気づかせ、書かれている内容を理解させる。 ○ 紹介した文と一緒に音読する。	★「くちばし」の内容や質問、答えの形式に興味をもって読んでいる。(音読)
とりのくちばしクイズをつくろう。			
20	3活動；クイズ作り	○くちばしクイズをつくる。 ・2班に分かれる (zoom ブレイクルーム利用)、 ・クイズにしたいくちばしを、資料から1つ決める。 A班：オオハシ、フラミンゴ、インコ B班：ペンギン、ペリカン、タカ ・ワークシートに記入する。 ・担当を決め、発表の練習をする。	○各班に教員を一人ずつ配置し、クイズ作りを支援する。 ★積極的に話合いに参加し、班員と協力してクイズ作りをしている (態度)
35	4. 発表	○他の班の友達に考えたクイズを出す。	○答えが出ない場合は、質問者にヒントを即興で考えさせたり、教員が支援する。
42	5. 本時の学習の振り返りをする。	楽しくクイズづくりができた、などの感想を大いに賞賛する。	

